

熊本県の地域再生の取組み
～ 経済界との連携 ～

熊本県 地域再生伝道師

熊本県から地元経済界への働きかけ

- 産業界などの内側からわき上がる活発なアイデアと貪欲な実行力を地元行政としてしっかりと受け止め、互いに知恵と工夫を出し合う。そうした双方での取り組みが成就して初めて規制緩和が威力を発揮し、持続可能な地域再生が実現するのではないか。

- 平成14年12月から

熊本経済同友会

熊本県商工会議所連合会

熊本県商工会連合会

熊本県中小企業団体中央会

熊本県工業連合会



熊本県と熊本経済同友会との連携

■ 平成14年度

県から特区に関する意見交換会の開催を呼びかけ

第1回 H14.12.13 第2回 H15.3.28

■ 平成15年度

同友会・経営開発部会で「構造改革特区」をテーマとして
取り上げ、会員へのアンケートやヒアリング等を実施

11月、国へ特区・規制改革の提案

■ 平成16年度

熊本経済同友会からも「あじさいキャラバン」に参加
前年度に引き続き、経営開発部会では特区に加え
「地域再生」を含めた取組みへと拡大

9月、第7回熊本フォーラム

第7回熊本フォーラム 阿蘇会議

- 主催 熊本経済同友会
- 開催日 平成16年9月10日～11日
- 全体テーマ 自立と連携 - 変革への挑戦 -
- 基調講演 「クロネコヤマトのイノベーション」
(社団法人経済同友会 有富慶二 副代表幹事)
- 分科会テーマ

熊本県から3名、
熊本市から2名
が参加

人材の育ち方

熊本から飛び出せ！

熊本の元気を発信！

見直そう！ものづくり



第2分科会での議論の背景

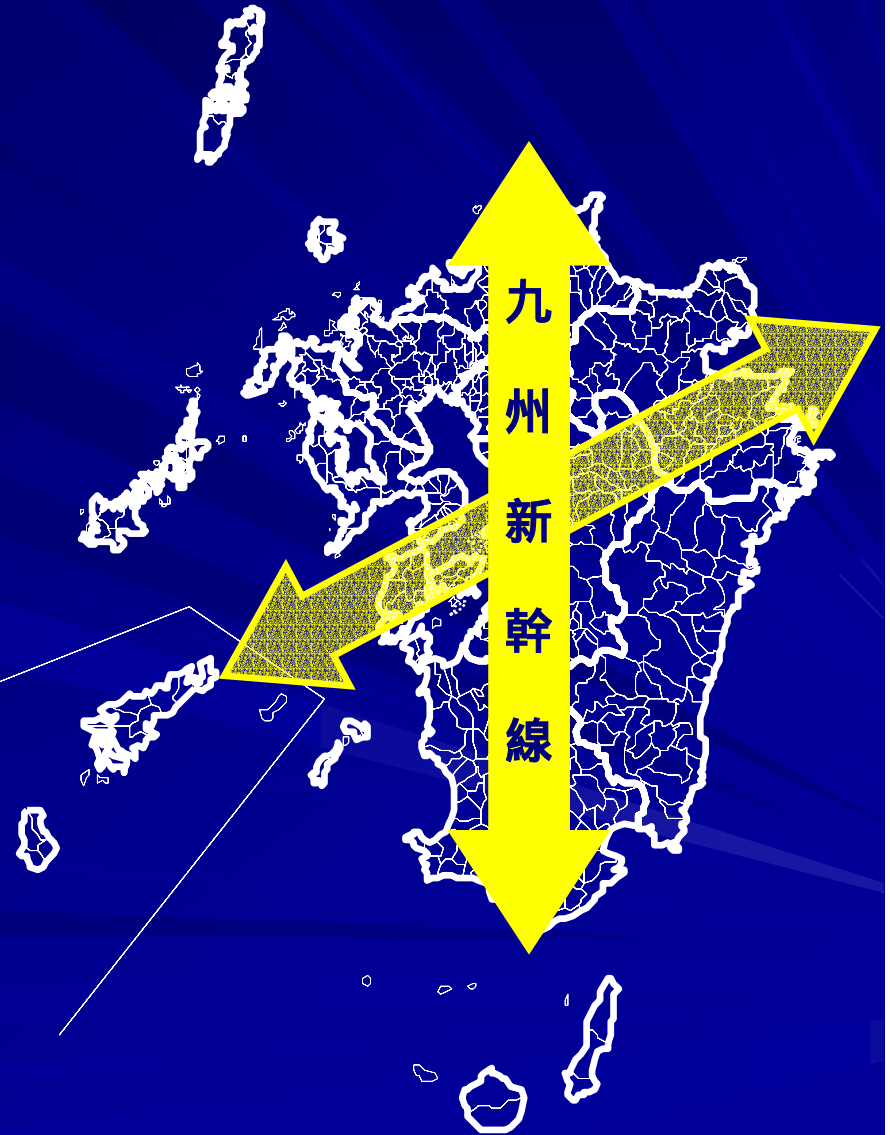
■ 九州新幹線の全線開業

2013年、2年前倒しの議論も

■ 熊本城築城400年

2007年

■ 世界に誇れる天草・阿蘇 をブラッシュアップし、横 軸を強化することが肝要



天草地域の位置・現状

過疎化、高齢化の進展

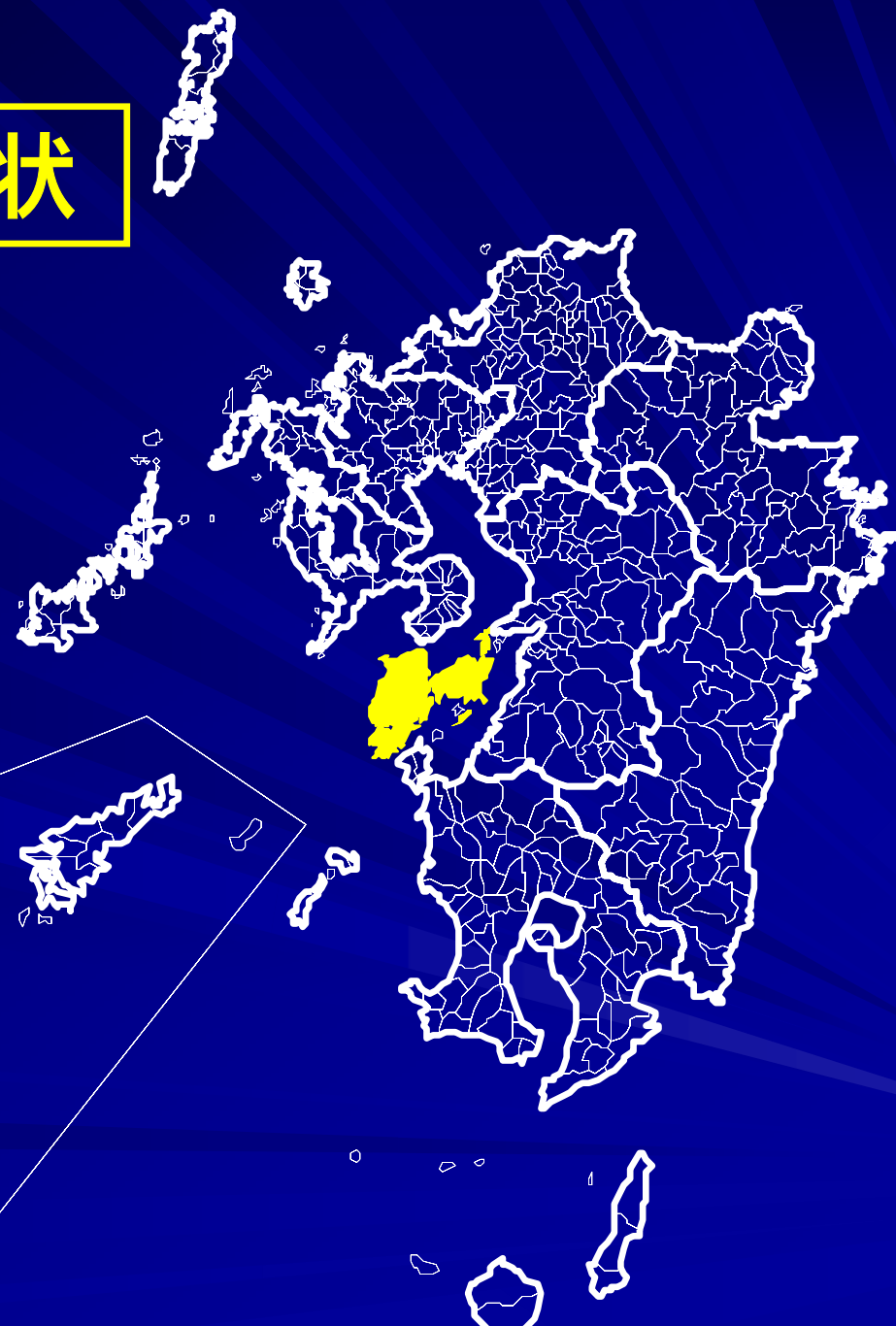
人口 約14万3千人
(ピーク時には約25万人)

高齢化率 29.6%
(全国19.0%、熊本県22.8%)

耕作放棄地の増加

経営耕地面積 5,375 ha
耕作放棄地 1,164 ha
(17.8%)

耕作放棄地は、県全体で5.7%
天草は、県内で最も耕作放棄地の割合が高い地域



熊本フォーラム
第2分科会

『農』と自然を活かした 魅力あるくまもと再生

～ 地域特性を育む定住を目指した観光振興～

今後の熊本経済同友会の取組みとして、以下のアクションプログラムを実践することを提唱。

- 民とJAを核とした産学官連携プロジェクトの立ち上げ
天草の地域再生・特区に関するプロジェクトの提案
- 定住を目指した観光振興を図る阿蘇プロジェクトの提案
大分経済同友会との連携強化